

◆ 2019 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：原市沼を愛する会

22A-12

代表者：代表 飯坂陽治

URL : <http://haraitinuma.hatenablog.com>

1. 活動が必要とされた状況

上尾市・原市沼川のそばに蓮池を作り、古代蓮を育て始めて 25 年になります。蓮池は観蓮者が蓮を身近で楽しめるよう遊歩道で区切られた 20 の池からなり、多い時は来客数が 1 万人を越え、現在に至っています。池の周りの土止めはベニヤ板と間伐材の木杭から、耐久性のある資材を使い耐用年数を伸ばして、ボランティアの労力軽減を図ると共に遊歩道の安全性を保持してゆくべく土止め補修と安全柵の設置を進めています。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

今年は 6 月に日照り対策として給水ポンプの設置、10 月～12 月に側溝の安全対策を含めた補修につき耐久性資材（亜鉛メッキ鋼板と鉄パイプ）を使って行うと共に、入口の橋の拡張と休憩場所の作製を実施しました。（参加人員は 4 人）



（側溝の土手補修）



（入口の橋の拡張と休憩場所の作製）

3. 活動の成果

今年もほとんど雨の降らない時期が続き、新たな給水ポンプの設置により池への給水が増強され助かりました。側溝は土手の補修だけでなく、安全柵も設置したのでより安全性が増しました。入口の橋は 2 人通れるくらいに拡張し、その横に休憩場所を作りましたので、来年はゆとりをもって活用して頂ける状態になりました。



（給水ポンプの設置）



（側溝の安全柵）



（入口の橋の拡張と休憩場所の作製）

4. 今後に残された課題

これまで蓮池の土止めに重点を置いてきましたが、写真撮影に夢中になって池に落ちる人もいるので、安全柵による安全性アップが必要と考えられます。